

正義のための活動で見られるように」(信徒を中心とした教会 P80)特定の課題に関心を持  
って設置される組織的なものが考えられる。前者は、「ある種の祈りのグループや社会  
まず、その職務が信徒の自発的な活動として行われるものと、教会共同体の指導者によ

\* どのように作られるかによって

かという奉仕の形態によっても、奉仕職を分類することができる。

どのような奉仕を行うのかという奉仕の内容による分類とあわせて、どのように行うの

### b. 形態による分類

共同体司牧のリーダー奉仕職

典礼奉仕：典礼世話係・祈りのリーダー・侍者・朗読者・先唱者

要理教育者・説教者・宗教教育教師

福音宣教師

例としてあげている(58~60, 70)。

この種の奉仕について、『教会奉仕職に関するアジア会議結論』では次のようなものを

他にどのような援助が与えられても、すべてがむなしくなるからである。

を与える」ものだからである。「その人に生きるための深い動機を与えないなら」(同上)、  
という決して放棄することの出来ない必要」であり、この奉仕は「人間に生きる力と希望  
にはたぐさんの必要があるのは本当ですが、根本的なものは、信仰、希望、制限のない愛  
役職中の役職です」(宣教師をそだてるイエス P115)と述べられている。なぜなら、「人間  
このような奉仕は、「キリスト者ができるもっとも偉大な奉仕」であり「奉仕中の奉仕、  
ことなどがある。

教、司牧の奉仕、共同体の維持、信仰内容を明らかにする」(宣教師をそだてるイエス P114)

るような奉仕」(宣教師をそだてるイエス P115)である。具体的には、「種々の形の福音宣

もうひとつの奉仕の分野は、人々と「分かち合おうとするたまたまものが信仰そのもので

### \* 信仰への奉仕

な働きができないということも意識する必要があるだろう。

スト者が少数であるため、非キリスト者との間で何らかの連帯がなければ、なかなか十分

またこの分野の奉仕職は、アジア一般に共通していることであるが、社会におけるキリ

ければならないだろう。

に変化する多様性を備えている。どの奉仕がどの程度必要かは、その都度十分に識別しな

こうした奉仕職は、それぞれの人々が置かれている時と場所といった条件によって大い

コミュニティの奉仕職：マスコミ・グループ・メソッド

共同体育成者・共同体リーダー・地方の共同体のリーダー・組織活動家

教育の奉仕職：教育制度の中で、また外で・生涯教育・社会教育・識字教育

労働者・農民・その他の職業人への奉仕職

青年への奉仕職：大学生・高校生・キャンパスのリーダー

### 運動家

社会との関わり：社会活動のリーダー・正義と平和の保・平和のための

諸宗教との対話の奉仕職

いよしの奉仕職・健康管理・カウンセリング

家庭の使徒職

奉仕職に関するアジア会議結論』では次のようなものがあげられている(61~69)。  
ただ、今日の具体的な状況の中でとりわけ必要性が高いと考えられる例として、『教会